



校長あいさつ

春には満開の桜が咲き、新年度を迎えた生徒たちを優しく迎えています。5月には正門あたりのつつじが美しく咲き、しばらくすると中庭にある噴水の水連が白く清らかな花を咲かせます。静かで落ち着いた明るい日差しの環境の中、生徒の皆さんには楽しく生き生きと学校生活を送っています。本校は全日制・学年制で各学年4クラスの計12クラス、生徒数約480名の小規模校です。小規模校のよさをいかし、生徒と教員、生徒相互のよい意味で近い関係を持つことができ、生徒一人ひとりの顔が見える学校です。

卒業後は本校の学びをアドバンテージに、大学・短大・専門学校など上級学校に進学しています。卒業生は8,000名を超え、看護・医療・保健・福祉等の様々な分野で神奈川県のヒューマン・サービスを担う人材として活躍しています。

New School New Me

令和7年度「二俣川高等学校」と校名がなり、62回生(1年生)は、普通科3クラス・福祉科1クラスとしてスタートしました。「New School New Me」には「新しい学校で新しい自分を発見し、大きくはばたいていこう」という気持ちがこめられています。

本校は、昭和39年全国で初めての看護教育を行う高等学校として創立し、今年度62年目を迎えました。新しく誕生した普通科ではこれまで培ってきた伝統と校風を継承し、看護・医療・保健・福祉等の分野への進路意識を高めるとともに、多様な進路支援に力を入れ、「特色ある普通科」として発展してまいります。また福祉科では、校内外での体験的・実践的学びを通して知識と技術を身に付け、介護職員初任者研修の修了の資格を取得し将来の専門職としての土台を育みます。看護科は、令和8年度まで継続します。これまでの学びを継続しより充実させ、上級学校進学に向けしっかりと支援してまいります。これから社会を担う心豊かな人材を育成していきます。

夢を広げる 夢に近づく

夢とは自分が思い描く理想であり、目標です。3年間の高校生活は自己の生き方・在り方を考えるための大切な時間です。これから社会はSociety5.0やVUCAの時代といわれています。私は、ヒューマン・サービスとは「一人ひとりが幸せを感じ、その人らしく生きることができるよう思いやり寄り添い支援していくこと」と考えます。そして、支援する人も「かかわりを通して成長し、幸せを感じること」だと考えます。本校では、「看護の心・福祉の心・奉仕の心」の3つの心を育む教育を行っています。日々の学び・生活、そして行事・部活動などの生徒主体の活動を通して「3つの心」を育みます。

「夢を広げる、夢に近づく」。自己の夢を持ち、仲間と夢を語り、夢をひろげる。生徒の皆さんのが3年間充実した学校生活を送ることを願います。



令和7年4月

校長 鈴木 恭子